

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.60	
	「3歳未満児保育」	26	4.38	
	「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!	
	「教育保育の配慮事項」	9	5.00	
	「健康・安全」	23	4.30	
	「子育ての支援」	18	4.33	
	「職員の資質向上」	9	4.33	
	計	100	4.44	
総 合 評 価	<p>幼児期・乳児期の養護・教育的な視点の必要性や、具体的実践の在り方を考え、職員同士共通理解を確かなものにしていく。研修報告や学び合いが重要になり、整理する力、解りやすく伝える力が必要と考える。また、地域との関わりの希薄さを解明し、できる所から積極的な関わりを持ち、地域に保育園の存在を知ってもらえる機会を作る。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
子ども・高齢者・障害者満足度の把握	子どもや利用していただいている方が、常に主体的に満足頂いているかの検証・改善と報告 定期的呼びかけと、個別の状況確認を行う
保護者等のニーズ等の把握・理解	保護者や家族の声を聞き、満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進 行事ごとのアンケートの実施を行い、満足度の把握と課題の抽出・改善に努める
地域への見える化・見せる化	地域に対して、法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化 掲示板を利用して、園内の様子や取り組み内容を掲示する